

火事だ！



スタンドパイプ

だれでも
カンタン

で初期消火！！



2人以上



必要人員



- ① 消火栓のフタを開ける



- ② スタンドパイプをつなぐ



- ③ ホースを伸ばす



- ④ 消火！



① 消火栓のフタを開ける

② スタンドパイプをつなぐ




③ ホースを伸ばす

④ 消火！

安全な消火活動のために

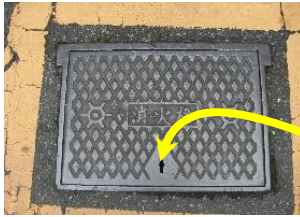
1 消火栓のフタを開ける

道路・歩道などで見かける これが「消火栓」です。

角型 消火栓	丸型 消火栓	
 <p>フタの周りに黄色のラインがひかれています。場合もあります。</p>	 <p>フタの周りに黄色のラインがひかれています。場合もあります。</p>	 <p>フタに青色のラインが引かれています。(排水栓)</p>

角型 の開け方

① カギを差し込む



消火栓カギをカギ穴に差し込み、90度回す。

② フタを開ける



長い方をしっかり持ち、てこの原理によりフタを開ける

⚠️ 腰に注意!

ひざを曲げて、腰を低く。



足の挟まれ注意! フタは重量がありますので、足の位置に注意して、完全にフタを開けましょう

丸型 の開け方

① フタを持ち上げる



② フタを引き上げる



③ フタを回して開ける



消火栓カギをカギ穴に差し込み、てこの原理でフタを持ち上げる。

フタを手前に引き上げる。

引き上げた状態のまま、フタを180度回して開ける。

① 消火栓のフタを開ける

② スタンドパイプをつなぐ

③ ホースを伸ばす

④ 消火!

安全な消火活動のために

2 スタンドパイプを消火栓につなぐ

① スタンドパイプをつなぐ

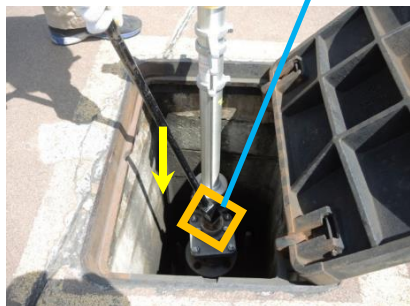


吐水口にスタンドパイプをつなぐ

⚠️ 確実に結合!

スタンドパイプは、一度上方に引っ張り、確実に結合されたか確認する

② スピンドルドライバーをつなぐ



放水弁にスピンドルドライバーをつなぐ

③ 水が出るかどうか確認する



スピンドルドライバーをゆっくりと左回り（反時計回り）に回して、水が出るかどうかを確認する。確認したら、水を止める。

① 消火栓の
フタを開ける

② スタンドパイプをつなぐ

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために



スピンドルドライバーの急激な操作はダメ！

放水弁を開くときは、スピンドルドライバーを
ゆっくり回しましょう。

一気に開放すると放水担当者（管そうを持つ人）
が、反動力でケガをする恐れがあります。

水を出すとき (Open)

左回り（反時計回り）



水を止めるとき (Shut)

右回り（時計回り）



消火栓への転落注意！

消火栓内は深いので、自分たちだけでなく、通行人
なども転落しないように注意する必要があります。

特に夜間などはキケンです。

照明で照らしたり、ロード
コーンなどを置いておくと、
注意を促すことができます。



3 ホースを伸ばす

① ホースを伸ばす



ホースを転がして伸ばす

⚠ ホース 1本=20m

火災現場までの距離に応じて、2本目のホースも伸ばす

② ホースとスタンドパイプをつなぐ



ホースをスタンドパイプに差し込む

⚠ 確実に結合!

ホースは、一度引っ張り、確実に結合されたか確認する

③ ホースと管そうをつなぐ



管そうをホースに差し込む

⚠ 確実に結合!

管そうは、一度引っ張り、確実に結合されたか確認する

① 消火栓の
フタを開ける

② スタンドパイ
プをつなぐ

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために



ホースを無理に引っ張らない！

ホースを無理に引っ張るとスタンドパイプや消火栓の吐水口が破損する可能性があります。

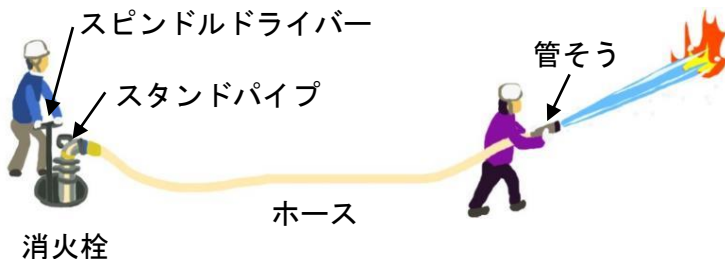
ホース延長中は、スタンドパイプ側のホースを腰で押さえましょう。

ホースの延長方向に足を前後に開き、ホースを押さえると、姿勢が安定します。



ホース延長中の確保姿勢

スタンドパイプによる初期消火 イメージ



4 消火！

① 「放水はじめ！」と合図する



放水担当者（管そうを持つ人）が、手を上に挙げ「放水はじめ！」と合図する。

⚠ 放水担当者は、管そうから離れない

相手が見えない場合は、誰かに伝えてもらう

② スピンドルドライバーを左に回す



「放水はじめ」の合図を確認したら、スピンドルドライバーをゆっくり左に回し、全開にする。

⚠ 操作はゆっくり

③ 管そう先端のノズルを回し、放水！



水が来たら、ノズルを回して放水する。

⚠ 放水の反動があるので、姿勢をしっかり保つ

① 消火栓の
フタを開ける

② スタンドパイ
プをつなぐ

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために



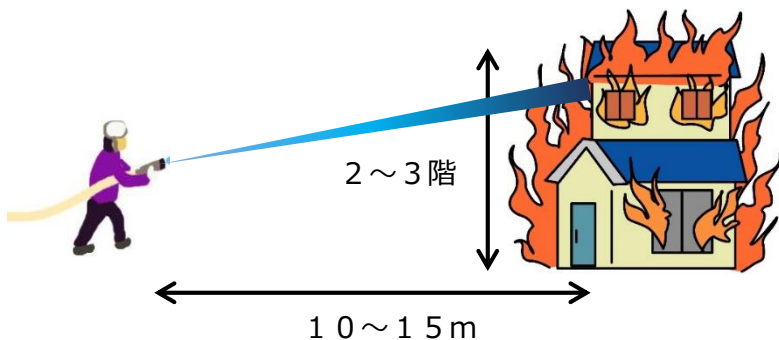
水の反動力に備えた「正しい放水姿勢」



管そうは、目標に向け、腰の位置でしっかりと保持しましょう。

足を前後に開き、前傾姿勢をとると、水の反動力が抑えられ、姿勢が安定します。

スタンドパイプによる放水距離 めやす



※ホースの本数、消火栓の状況などの各種条件により前後します

安全な消火活動のために

重要! 活動時は「自分の身の安全が第一」

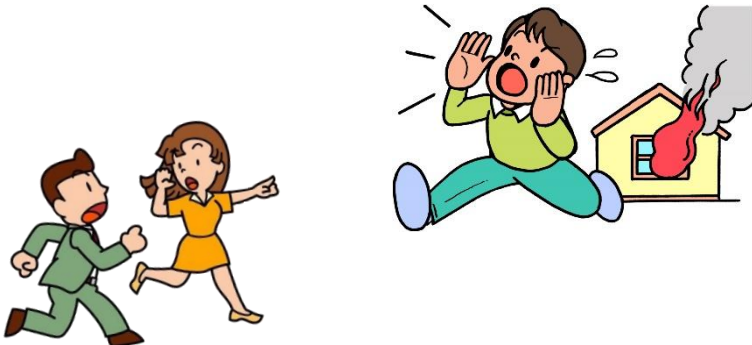
服装

炎の熱や落下物から、身を守りましょう。



付近の人の応援を求める

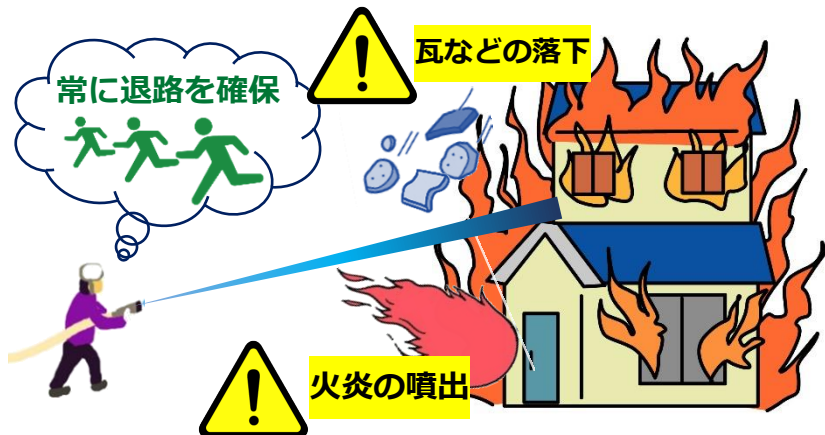
人数が多くなれば、活動しやすくなります。



燃えている建物に近づきすぎない

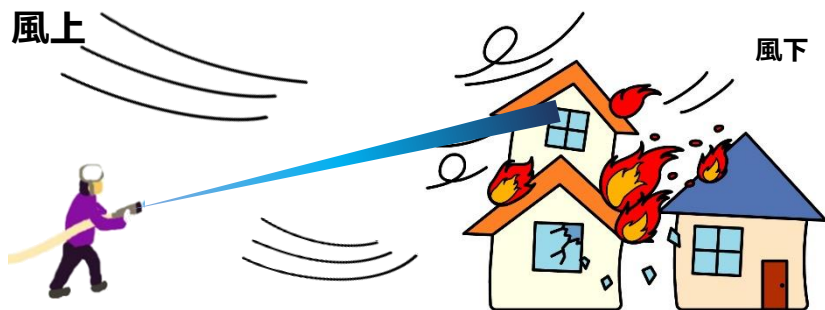
燃えている建物に近づきすぎると、やけどやケガをするおそれがあります。

イザという時の逃げ道を確保しながら、路上や屋外から放水します。



風が強いときは、風上から

風が強いとき、風下には火が回る危険があります。安全な風上側から放水します。



① 消火栓の
フタを開ける

② スタンドパ
イプをつなぐ




③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために

スタンドパイプ 必要機材リスト



スタンドパイプ	スピンドルドライバー	消火栓カギ
 <p>消火栓に 接続するパイプ</p>	 <p>消火栓の放水弁を 開ける道具</p>	 <p>消火栓のフタを 開ける道具</p>

ホース	管そう
 <p>1本 = 20m</p>	 <p>直射・噴霧・停止の切替ができる</p>

(出典)東京消防庁：見て、知って地域で実践！！初期消火マニュアル（平成25年8月）